

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 10 回 定例委員会
日 時	令和6年10月25日 自 15時00分 至 15時30分
場 所	第二庁舎2階北会議室
出 席 委 員	教 育 長 福 原 功 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹
欠 席 委 員	高 橋 憲 司 委員
会議録署名委員	齋 藤 智 子 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 根 田 笑 里
事 務 局 職 員	教 育 部 長 園 田 透 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 東 峰 秀 樹 教 育 部 参 事 荒 関 基 高 総 務 企 画 課 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 査 山 口 元 総 務 企 画 課 主 事 根 田 笑 里
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（福原教育長）・・・15時00分
2	会議録署名委員の指名（齋藤 智子 委員）
3	会議録の承認
	（福原教育長） 第9回定例教育委員会（令和6年9月27日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
	（一同「はい」の声）
	-会議録どおり承認-
4	教育長の報告
	（福原教育長） 9月27日開催の第9回定例教育委員会以降の主な動きなどについて、報告をさせていただきます。
	今月に入り、小学校・高校の開校に伴う周年事業が行われております。
	5日には駒澤大学附属苫小牧高等学校開校60周年が執り行われ、明日26日には糸井小学校開校50周年、来月9日には泉野小学校開校40周年の記念式典が予定されており、委員の皆様にもご案内しておりますが、よろしくお願いいたします。
	また、来月17日には八王子市、日光市、苫小牧市姉妹都市盟約50周年を迎え「三都絆祭」と銘打った記念事業が八王子市で開催されます。
	八王子千人同心が縁となり、国内では珍しい3都市による姉妹都市盟約が50周年という節目を迎えることとなり、式典には私も出席してまいります。

次に、市議会令和５年度決算審査特別委員会が９月３０日から１０月４日の日程で
開催され、一般会計及び企業・特別会計の決算審査が行われました。全会計とも全会
一致で認定され、１２月の定例会で承認される見通しでございます。
教育費の審査は２日に行われましたが、学校教育関連では、不登校対策事業、いじ
め問題対策事業のほか食材費高騰による給食費の影響などについて、質疑が行われま
した。
その中で、不登校対策事業に関しては９月定例会でも答弁した校内教育支援センタ
ーの全校設置について、教育部内部で既存事業の見直しなど設置に向けて財源確保に
努力することを答弁したほか、給食費に関しては、価格高騰が続く食材費に対して工
夫を重ねながら支出額の削減に努めているものの、栄養基準量を満たすための必要な
給食の質と量を維持していくことに限界があり、値上げに向けて前回改定時以降の物
価上昇率などをもとに慎重に検討を行い、１１月の学校給食会理事会で決定する予定
を答弁したところでございます。
最後に、市民文化祭が９月から１１月にかけて市内各所で様々な事業が行われてお
り、また、今月２３日、２４日には長生大学大学祭が開催されるなど文化芸術事業が
続いております。
１１月３日には委員の皆様にもご出席をお願いしておりますが、令和６年度苫小牧
市文化賞・文化奨励賞授賞式を予定しております。時節柄、ご多用かと存じますが、
ご理解ご協力をお願いいたしまして、報告とさせていただきます。私からは以上でご
ざいます。
報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。
(一同「なし」の声)

5 議 案
(福原教育長) 本日は、審議する議案はございません。
6 報告・協議
報告(1) 校長会及び教頭会からの文教施策要望について
(総務企画課長) ー校長会及び教頭会からの文教施策要望について説明ー
(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(岡田委員) 4番目の体育館シャッターやキーボックスの設置等の設備の改修とは、
具体的にどのような現状があるのでしょうか。
(福原教育長) 部活地域移行に向けての(1)の二つ目「体育館シャッターやキー
ボックス設置等の設備の改修」これの要望の具体的な内容と対応をお答えいただけますか。
(教育部斎藤次長) 現状ですね、中学校の部活動の地域移行が拠点校方式というよ
うなことで少し始まったような状態にあります。小学校では学校開放事業として、外
から鍵を開けて体育館を自由に出入りできるような仕組みが既に整っているのですが、
中学校にはまだそういった仕組みができておらず、自分の学校の生徒しか使えない状
況になっていますので、それを他の学校の生徒たちが外から使えるよう、体育館から
校舎側に入れないようなシャッターや、外から直接体育館に入れるようなキーボック
スを設置してほしいという要望になっております。これは順次、小学校と同じように
予算をつけながら整備をしていく予定でおりますので、そういった回答ということで
ご理解いただければと思います。
(福原教育長) ほかにいらっしゃいますか。
(斎藤委員) もしかしたら離れるかもしれないのですが、2(2)「教職員の増

員」のところで加配教員の割り当てについて書いてあるのですが、現状では配置基準
に対して先生の数十分に足りているけれども、なかなか支援の必要なお子さん、通
常学級であっても支援が必要なお子さんがたくさん増えてきているので、基準は満た
したけれども、基準を超えて先生を設置してほしいという捉え方でよろしいのでしょ
うか。今現状がどうなってるのか知りたくてお聞きしました。
（教育部斎藤次長） この要望については、市単費で支出している支援員ですとか、
様々な補助をするような役割の方たちをたくさん配置しているのですが、そうではな
くて、道費負担の職員で加配の教員を増やしてほしいということで、国や道の予算の
中で、胆振で何人というような枠で決められているものなので、その中で配置希望を
学校に出してもらい、胆振で選定して配置されるような仕組みになっています。その
加配の枠自体を拡大してほしいという要望になるので、我々へというよりは、道教委
に働きかけてほしいという要望になります。もちろん我々としても、一人でも多く加
配教員をいただきたいということで頑張っております。
（斎藤委員） 分かりました。あくまでも道に対してということで。苫小牧としては
支援員とかを配置しているということですね。分かりました。
（福原教育長） 加配とは言葉のとおり加えることでしょうけど、基準やルールはあ
りますか。
（教育部斎藤次長） 学級数によって教員の定数が決まりますけども、加配の定数と
いうのも道教委として枠で持っていて、例えば生徒指導が困難な学校に全道で10枠
とか20枠とか。通級指導教室だと3人以上に一人といった人数によって一人加配す
るなど、それぞれの加配基準というのを持っていますので、その枠の中で、全道で配
置されるような仕組みになっていますので、なかなかその枠を増やしてというのは簡
単なことではないですね。
（福原教育長） その枠の中で、全道各地で手が上がって、道教委がその実態を比較
して捌くということですね。
（斎藤教育部次長） そうです。現状厳しいですというのを、学校をとおして、市教委

をとおして道教委に働きかけるっていうようなことです。
(福原教育長) それは、今までもやってきていることですね。ただ、学校現場としてはとりわけ要望したいと。
(齋藤委員) 引き続きこの問題きついですよと。苫小牧市だけじゃなくて、全部どこの市も同じ問題をちょっと抱えてるということですね。
(教育部斎藤次長) そうです。
(福原教育長) ほかに。
(佐藤委員) 同じように人員確保のことで、8ページ「5.働き方改革の実現に向けて」②ですが、業務をサポートする支援員の人数ですが、現在22校でその教員の業務をサポートしているということで、大体学校一人の計算だと思うのですが、学校によっては大規模なところがありますので、今後人数が増えるというようなことは、今の加配もそうですが、期待してよろしいものなののでしょうか。
(福原教育長) この業務支援員というのは市費ですか。
(教育部斎藤次長) 道費です。
(佐藤委員) 道教委なので、申請してということだと思うのですが、どうなのでしょう。
(教育部斎藤次長) この教員業務支援員というのはですね、「スクールサポートスタッフ」というような言い方で始まったのですが、4、5年前にコロナの関係とかもあって、教員の代わりに消毒するというようなところから始まったもので、道費の職員です。コロナも落ち着いたことで、これから減らされるような話も聞こえてきたりはしていたのですが、一応これも道の予算や学級数の申請条件が決められていて、学校数が減っているのがありますが、一応現状維持というようなところでお願いしているところですが、ちょっと先が見えないということからも難しいような状態にはなっています。これとは別に市教委で様々な支援をしているというような状況になっています。
(佐藤委員) 道教委の考え方として一人、何人に対して何人とか、児童数・学生数

何人に対して一人とかそういう基準があるというわけではないのですか。
(教育部斎藤次長)　そうですね。そこまでのしっかりした基準を持って配置してる訳ではなくて、総額で何人というような、予算の範囲内という感じですね。
(佐藤委員)　はい、分かりました。
(福原教育長)　今の佐藤委員の取り上げたところで、私から校長会に対してひと言申し上げました。「本来教員が担うべきではない業務」というのは、学校を内側から見てる見方だと、外から見たら先生でもそうでなくても学校のことはやるべきではないかと、この表現を考えた方がいいと申し上げてきました。こう言ってはいけないということではなくて、こういう表現が誤解を生む可能性があることを申し上げましたことを申し添えます。
他になにかございませんか。ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」)
(福原教育長)　それでは、報告第１号の質疑を終結いたします。
報告（２）移動式クーラー導入の効果検証について
(総務企画課長)　ー移動式クーラー導入の効果検証について説明ー
(福原教育長)　質疑に付します。何かございませんか。
１点確認ですが、資料内３の暑さ指数の数字は、例えば７月だと「暑さ指数２１以上の注意」の１５という数字は、１５日ということで間違いないですね。４校で１校しかカウントしなくても、４校全てで観測しなくても、その日は１日という認識でよろしいですか。
(総務企画課長)　一番高いものを採用してるのでそうですね。

(福原教育長)	1校だけ暑さ指数が21を超えてるかもしれないけれども、他の3校は超えてないかもしれないけど、それでも1日とカウントしているということではないですね。要はそういう日だったということですね。資料に単位が書いていなかった
	ので確認させてもらいました。
(総務企画課長)	失礼しました。
(福原教育長)	これは学校がやっている日だけの観測結果ですね。
(総務企画課長)	基本的にはそうですが、夏季休業中でも測定してくれた学校もあります。
(福原教育長)	土日でも測定している可能性もあると。
(総務企画課長)	土日は恐らくないです。
(福原教育長)	それを見たら7月の半分は暑かったということですね。
(齋藤委員)	クーラーをつけていなかったら注意レベルよりも高かったかもしれないですね。以前よりはいいという声もあるのですね。
(福原教育長)	電気代は思ったほど上がらなかったですね。学校全体から見たらスポットクーラーはそこまで、ということで。スポットクーラーが原因で電気料金が上がったとは言い切れないでしょうし。
	他になにかございませんか。ないようであれば質疑を集結してよろしいでしょうか
	(一同「はい」の声)
(福原教育長)	それでは、報告第2号の質疑を終結いたします。
	報告(3)教育委員会職員の人事異動に係る協議について
(福原教育長)	次に、報告第3号及についてですが、人事案件であることから、教育委員会会議規則第21条の規定により、秘密会として審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

[illegible]